



認定看護師通信



2020年12月発行
Vol.32

今回のお題：「ショック」について

ショックとは、「主要臓器への有効な血流が低下して組織代謝に異常を来し、組織機能が保てなくなる時の症候群である」と定義されています。そしてその病態により以下の4つに分類されます。

分類	原因
循環血液量減少性ショック	出血 高度脱水 広範囲熱傷 などによる体液喪失
心原性ショック	心筋梗塞 弁疾患(AS・MS) 心筋症 不整脈
血液分布異常性ショック	敗血症 アナフィラキシー 神経原性(脊髄損傷)
心外閉塞・拘束性ショック	心タンポナーデ 緊張性気胸 肺動脈塞栓症

血圧はショックの早期指標となるか？

「ショック＝血圧低下」と思いがちですが、「血圧低下」だけを状態悪化の目安にしてはなりません。ショックの前段階であるプレショックの判断が重要であり、その特徴的なバイタルサインの変化や見極め方を理解しておくことが必要です。血圧が低下するまでショック兆候を認知できなければ、気づいた時には取り返しのつかないことになりかねません。

例えば、出血など進行性の病態では、ショック直前をバイタルサインの変化で見抜くこともできます。一つは「頻脈」、もう一つは「脈圧の狭小化（収縮期血圧と拡張期血圧の差が縮まること）」です。出血により、血管内容量が低下すると、体内では内因性のカテコラミンが分泌（カテコラミンリリース）されます。これにより、心拍数増加、末梢血管収縮することで、この二つの特徴的变化を認めることができます。ただし、高血圧患者や高齢者、β遮断薬を服用している患者は頻脈とならないことがあるので、既往歴や服用している内服薬を確認しておくことが必要です。また、神経原性ショックでは、副交感神経が優位になるため徐脈になるなど、頻脈とならないショックもある事を知っておきましょう。

ショックの5徴候（ショックの5P'S）をおさえる！

①頻脈 (Paiior) ②冷汗 (Perspiration) ③虚脱 (Prostration) ④脈拍微弱・触知不能 (Pulselessness)

⑤呼吸不全 (Pulmonary deficiency)

* 虚脱・・・元気がなく視線が合わない、脱力している状態

患者さんをパッと見たとき、「ショックかもしれない」と気がつけるよう、上記5項目を頭に入れ、一つでも徴候があれば、「ショック」を前提に観察を勧めていきましょう。

文責：救急看護認定看護師 下村雅美

新型コロナウイルス感染症について

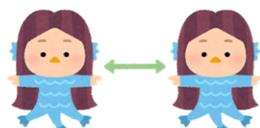
2019年12月、中国湖北省武漢市に端を発したCOVID-19は、急速な勢いで全世界に広がりました。

一年経過した現在も患者が増加し、いまだに終息は見えません。熊本県の一例目の患者報告は2020年2月22日でした。有明地区ではクラスターが発生したこともあり、多くの患者が報告されています。テレビなどで病院でクラスターが発生したニュースをみると「いつ当院も・・・」と恐ろしく感じます。職員のみなさんの周辺でも、身近に感染者がでている方もいらっしゃるかと思います。遠いところでの出来事ではありません、「今、話している人がコロナかも・・・」「私はもしかしたらコロナに罹っているかもしれない。」という危機感を持って一人一人が行動する必要があります。

感染を成立させないためには、感染経路を遮断することが一番の対策になります。その為には、基本的ですが、**手指衛生の実施、正しいマスクの着用**が重要となります。私たちの手は、日常的に様々な菌やウイルスが付着している環境に触れます。通常、触った手からウイルスが体内に入ってくることはありませんが、その手をきれいにする前に、目鼻口を触ることで粘膜から菌やウイルスが体内に侵入する可能性があります。**手をきれいにする前に目鼻口を触らない！**ことが重要です。職員の方々はアルコール手指消毒剤を携帯して頂いていますので、適宜、手指衛生を実施してください。マスクの着用に関してですが、残念なことに、正しくマスクをつけられていない方を見かけます。無意識かもしれませんが、マスクの表面を触り上げ下げし、その手であちこち触る人、鼻を出してマスクをしている人、顎にマスクをずらしている人・・・みなさんも見かけませんか？あと、私を見るとマスクを上げる人……。使用しているマスクの表面は汚染されています。マスクの表面にコロナウイルスが付着した場合、2週間たってもウイルス培養で陽性になったという研究結果も出ています。マスクの表面は基本触らない、もし、触った場合は手をきれいにしましょう。また、そのような状態を見た場合は、お互いに注意しあうことが感染予防につながります。感染は、対策が100回のうち99回出来ていても、1回出来ていなければ成立してしまう可能性があります。

感染対策には、みなさんの協力が不可欠です。協力してこの難局を乗り切っていきましょう。

COVID-19が早く終息することを願っています。



ソーシャルディスタンスを保ちましょう

知らないうちに、拡めちゃうから。



文責：感染管理認定看護師 船原初美